

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 21 年 1 月 22 日(木)18:30～19:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 特定非営利活動法人ディ会議室
- 3 出席委員 委員総数 7 名 出席委員数 7 名

出席委員の氏名

西平功／師玉俊朗／佐竹京子／別府亮／町ゆかり／永江直志／重信千代乃

放送事業者側出席者名

麓憲吾／丸田泰史／中原優子／小野健太郎／元井庸介／美野千夏／鈴木真実

4 議題

- (1) お昼の「ディ！お茶ど！」について
- (2) 一般聴取者の意見、要望等
- (3) その他

5 議事の概要

お昼 15:00～15:30 に放送の「ディ！お茶ど！」を主な議題として審議。

ディ！お茶ど！は 2 部構成

1 部、朝と昼に本放送している「島の宝奄美っ子」か「ナキャワキャ島自慢」のどちらかを再放送。

「島の宝奄美っ子」子供たちの将来の夢をインタビューするコーナー

「ナキャワキャ島自慢」島の様々な人たちへのインタビューや作文のコーナー、

2 部、自身も島唄を歌う永井姉妹とあまみ FM 丸田が唄者・島アーティストの曲を解説するコーナー
一般聴取者の意見、要望等では、トーク番組への要望や若い世代への番組充実、方言や島唄の放送の在り方について提案が寄せられた。その他、番組審議会の期限が終了するため各委員から一言ずつ頂いた。

6 審議内容

- (1) 「お昼のディ！お茶ど！」について

—放送局丸田

「ディ！お茶ど！」は朝と昼のお茶の時間にすこし手を休めて聞き流していただければいいなと思い放送している番組です。また、朝のお茶どの中では 7 時からの「スカンマーワイド」と 12 時からの「ヒマバンミ ショシーナ」で放送しているコーナー（“島の宝奄美っ子”と“ナキャワキャシマ自慢”）の再放送を行っています。昼のお茶ど！では永井姉妹とあまみFMの丸田がパーソナリティを務め、島出身のアーティストや唄者を、ジャンルを問わず取り上げています。そのアーティストの紹介や歌詞を説明しています。特に島唄は同じ唄でも歌詞が違ったり意味が違ったりするものが多いので詳しく説明を行っています。

町委員

まずタイトルが和む。ほっとする時間に相応しい。途中CMを挟んでだったか、話のテーマが変わったようだが、いきなり変わったように感じられ何のテーマについて話しているか一瞬わからなくなった。もう少し話の切れ目になるような合図(音)など入れればわかりやすかった。

永江委員

聞き流す程度のスタンスの番組ということだが、子供たちへのインタビューは聞き流せないほど面白い。たとえば、子供たちに将来の夢を聞いて「中学生になりたい」といった幼稚園児に「なんで中学生になりたいの??」などつつこむところが非常におもしろい。ほんとうに好きなコーナー。永井姉妹はじめ若い世代が島唄を解説している感じがすごく好きで、またこのようにラジオで流れていることに自分やその下の世代にとっても刺激になっていると思う。

別府委員

3人の話している感じが和やか、にぎやかでやっている方たちの楽しさも伝わってくる。最初は内輪だけで盛り上がっている感じもしてどうかと思ったりもしたが、最近は3人の世界観持ちながらやっていくほうが番組として成り立つのかなと思いはじめた。ただ、とても知り合っている者同士なのでたまに目で会話していると思われるような間があり、そこはきちんと言葉で説明してもらったほうが、リスナーにも楽しさが伝わると思う。

佐竹委員

おじいさんのお茶ど！（ジングル）という始まりの声、永井姉妹のキャッキョという笑い声が楽しく、とても自然な番組だと思った。

重信委員

島の宝奄美っ子のほうは、子供との会話はつなげるのが大変だろうと思うがよく面白い答えを引き出していると思う。録音の後編集は行っているのだろうか。聞きながら地域に子供がいるということ、子供がいてこうやって話すだけで和むんだな、という気持ちがあった。唄の特集は永井姉妹と兄（丸田）との会話のリズム感がありとても聞きやすい。知らない島唄や唄者・アーティストの解説はとてもよかったと思う。

師玉委員

おじいさんの声での始まりが印象的ですごくいい。また終わりにもおじいさんが「でい、仕事しろ（さあ仕事しよう）」というが、本当にさあやろうという気になる。いい掛け声。自分は島唄はやらないが、自分からしてみると島唄は今までは年配の方（唄者や上の世代）から教わるというものだった。こうやって若い世代が島唄・新民謡の意味を説明、解釈をするのはとても新鮮に感じた。こういうものが島の文化の伝承なのではと思った。これから若い唄者などに島唄の解釈をやってもらったら、島唄がより身近なものになってくると思う。パーソナリティの3人はすごくローカルで、本当に友達がその辺でお茶している感じがして良いと思った。

西平委員長

移動中などに聞いている。脱力感・和みキャラでとても良いと思う。また、永井姉妹は実際に島唄をやっている子達なので、解説がアカデミック（学術的）ではないのが良い。研究者の目線ではない視点がわかりやすい。また、姉妹と兄との年齢差がちょうどいい。すごく離れているとつこんだ意見をいづらい。いじったりいじられたりできるくらいで。

重信委員

あれは（島の宝奄美っ子）、編集はかけていないんですか？

—放送局 中原

編集しています。すぐにしゃべれない子もいるのでいろんな切り口で聞いている。どうして？ってきいても理由がすぐに出てきませんから、答えやすくなるように誘導したりしていますので、かなり編集をしてい

ます。でもまったく軽快にしましてもつまらないので、子供が“ん〜”と悩んでいる様子も入れたりしています。バランスを考えて演出しています。

現在の島の宝奄美っ子再放送の時間は、朝のお茶ど！のみになっています。

町委員

今、番組の趣旨を伺って聞き流しても良いということだったが、曲を聞いていて少し長いな、いつ終わるのかなと感じることもあった。また、島唄よりも八月踊りがいま消えていきやすい環境にあるので、そういうものも取り入れていくと良いのではないかと思った。

永井姉妹が「秋名の夕方の風景が思い浮かびました」などと感想を入れたりするのが、自分もそんな風に思ったのであぁいいなあと感じた。

(2) 一般聴取者の意見、要望等

①放送中に「プツプツ」途切れるのが聞きづらい。

—放送局 丸田

ここの放送局からアンテナ塔のある場所までデータのやり取りを行っています。通常であれば、そのアンテナ塔まで回線を引いて放送を行うのですが、開局当時に回線状況の整備がなされておらず、受け側と送り側との機器の間にもうひとつ機器を入れ変換しています。その装置の不具合が生じると放送に途切れが生じます。装置の再起動で一時的に解消されたりもするんですが…。

永江委員

そのことについては聴取者に説明など行っていますか？

—放送局 丸田

放送の中でこのことについて触れたことはないです。

この現象は、送り側で10のデータを送った際に何らかの原因で受け側が9しか受け取ることができなかったという形です。その受け取ることができなかった1つのデータが“プツ”という形で現れるんですね。

西平委員長

これは改善に向けて動くということですか？

師玉委員

結構な割合で聞こえていますよね。毎日聞こえています。機器の問題ということですが…。

—放送局 麓

通常コミュニティFMでは、ISDN回線を使用しデータ通信を行っています。我々はそのための機器を購入したのですが、後になって送信所までISDN回線が引けないことがわかりました。やむなく光ケーブルをひいて使用することにしましたが、購入した機器は使えず代用の複数の機器を使用し変換して放送することになりました。全国でもこういう方法で放送しているのはあまみFMだけです。

なので、これからの課題としては光ケーブル用の機器を購入することですが、非常に高価です。

西平委員長

なるほど。わかりました。

②島のエフエム局だから、島口で放送してほしい。

—放送局 麓

これはある番組を放送中にお電話がかかってきました。

西平委員長

Iターン者や転勤者には島口だけでは何がなんだが判らない。今くらいの割合で私はちょうどいいと思う。

師玉委員

鹿児島なんかではコーナーで鹿児島弁しか使わないというのがありますね。

町委員

RBC(沖縄のラジオ局)でもお昼の時間にありますね。

師玉委員

そういうかたちでコーナーをつくってやるっていうのは良いかもしれませんね。

町委員

ニュースなどを島口だけで伝えるというのもおもしろいかも。

別府委員

同じ内容の記事を島口と標準語でやるとおもしろいかもかもしれませんね。

—放送局中原

そうなるとパーソナリティ全員が島口を熟知していないと難しいですね。

西平委員長

島はまた地域によって言葉が違うから、難しいですね。

重信委員

一日中、島唄を聞いているとついチャンネルを変えたいくなる。さりげなく耳に残る程度がいいのであって、バランスが大切。これ以上増えると厳しいのではないかとも思う。

③ほうらしゃ券(奄美市プレミアム商品券)の取り扱い店舗を放送してほしい。

別府委員

これは店舗が多すぎて無理じゃないかな。

師玉委員

市から広告料をもらってするならありかもしれないけれど。

西平委員長

店のCMになるけれど数が多いのでラジオ向きの広告じゃないかもしれないですね。

(3)その他

別府委員

曲を1曲すべてかけていることが多い。曲、トークとはっきりと分かれてしまっているの、あまりに好きではない曲がかかったときにチャンネルを変えたくてしまう。短めにかけて、曲数を増やして欲しい。トークの合間に少しかかるといいと思う。朝の放送なんかは特にテンポを大事にして欲しいと思った。

師玉委員

島唄の古いものなんかは1曲全部だと重たすぎるときもある。説明のトークがあればもっと聞きやすいんですが。

西平委員

ちょっと別の話ですが、今日車で走っていたら、ラジオでTSUTAYAのDVDが3枚千円という話が聞こえてきたのでそのままTSUTAYAに入りました。

別府委員

TSUTAYAさんのコーナーいいですね。ランキングコーナー、さわりだけでも曲を流せばいいのになと思います。イントロだけでも。すごくそられるし借りに行く人も増えそう。

西平委員長

今はランキングばやりだから、高校生ランキングとかあるグループでのランキングとかやったらおもしろいかも。

—放送局 中原

TSUTAYAのランキングも、毎日やっていたのですが本業もあり負担も大きいため今は週1回金曜日だけになっています。

別府委員

ランキングでバックに音楽がかかっていると全然臨場感が違うし、番組の質もワンランクあがって聞こえると思う。

西平委員長

音楽だけじゃなくても、映画のDVDなんかでも面白いとおもうけど。

—町委員

私は家でラジオが聞けないので、携帯電話で聞こうと思ってデモ機をauで借りてきました。SANYOとシャープが今使えるみたいでドコモとソフトバンクはどうなのかはわからないのですが、すごく音はクリアです。ウォーキングや自転車に乗りながら聞いていて、とてもラジオが身近に聞こえます。携帯会社に広告を出してもらって、このメーカーのこの機種であまみFMが聞けますというな、営業展開をしていっても面白いと思うんですよね。

師玉委員

中高生のリスナーは増えていますか？

—放送局 麓

先日、中原が大島高校へ講演に行く機会がありましたが、「あまみFM聞いている人？」と聞いたら結構手が挙がったと。

重信委員

昨年はかなり中高生が出演する場面があったのではないですか？体験学習もあったし、吹奏楽のものも何か出演されていたし。そういう場を作ってあげることが大切だと思います。

師玉委員

やっぱり夜の番組ですかね。流行の歌がながれてもいいし。

別府委員

そうですね。10時くらいから、机に向かい始めたときに1時間程度の番組があるといいと思う。

西平委員長

弁論大会を流すだけでも全然違うと思う。

重信委員

実際に聞きにいける人も少ない。

-放送局 中原

そうです。聞きに来ている人はすごく少なかったです。保護者の方はほとんどいないです。先生ばかりで。

師玉委員

塾などのスポンサーで、今日の授業の模範解答などの番組を 20～30 分やるとか。

別府委員

10 分間だけでも英文だけを読むというコーナーがあったら、リスニング用に聞く子もいるかもしれない。

佐竹委員

今日の新聞で商工会議所の浜崎会頭が「島の高校生 1200 人のうち 1000 人は島外へ出てしまう」と言っていた。高等教育機関がもうひとつという現状も考えてなにかしらラジオでやっていくと良いかもしれないですね。

師玉委員

ディ！の放送は結構道徳的だから、公共広告機構のような CM を番組の合間に流すという意識改革を促してもいいと思う。

町委員

島外で暮らす家族に向けて、誕生日メッセージとその日に起こった出来事と好きな曲などをプレゼントするというコーナーがあったらうれしいかなと思いました。

・・・番組審議会終了にあたって各委員から一言ずつ

師玉委員

これからも失敗を恐れずにやって行ってもらいたいと思います。そして低年齢の層にラジオを聞く習慣をつけていくようにしたら良いと思います。野球の西武ライオンズの話ですが、昔全然人気が無かったんですね。それで球場に子供たくさん招待したんです。マスコットのレオの人形をあげて。10 年後 20 年後の今、ファンはものすごくいますからね。そういう風に、地域に根ざしたあまみ FM を作っていくには子供たちを大事すること。「おかあさんといっしょ」みたいな番組があって幼稚園でこの時間になったらラジオつけようかみたいな習慣が生まれるといいですね。

重信委員

この数年でパーソナリティの成長を感じました。そして地域でがんばっている人たちに焦点をあてて褒め称えてエールを贈ってあげ続けてほしいです。そして聞いている人たちも一緒に応援していければいいなと思います。

佐竹委員

FM ができたということは、奄美の地域おこしにすごく貢献していると思うので、あせらずにゆっくりと続けて欲しいと思いました。

別府委員

形が定まってきて、日々のルーティンをこなしながら新しいものもどんどん作っていかなければならない段階にきていて大変だと思います。収入なども確保しつつ、活動を広げていって欲しいなと思います。

個人的に応援もしたいので、応援できる体制を整えていろんなことを振ってほしいです。

永江委員

小宿中学校に講演にいったときに聞いたのだが、最近の島の子はほとんど方言を話さない。しかしみんな島口(方言)がしゃべれるようになりたいと言っていた。そしてやはり島が大好きだと言っていた。子供たちが島に産まれたことを誇りに思えるような活動を、ディウエイヴはこれまでも行ってきたが続けて欲しいと思う。

町委員

沖縄から奄美にきて鹿児島(放送局)のテレビを見ている、島の企業のCMがまったく無いし、鹿児島の企業も何年も同じものを流しているだけだと思った。あまみFMのCMは企業の特色がとてもよく出ていて耳に残る。そういう意味でも島の経済をひっぱっている存在だなと感じている。方言の話もあったが、いつまでも島の生活に密着したラジオであって欲しい。変に垢抜けなくて欲しい。前回も話したが島にいる学芸員、文化的な仕事をしている人たちの番組などがあれば高等教育にもつながっていくと思うので、協力できると思っている人もいますので体制を整えたら是非声を掛けてください。

西平委員長

こういった活動を行っている、雑音が聞こえてくるときもあると思うが、倦まず弛まずペースを守りながらやって欲しいと思います。

—放送局麓

この一年間本当に有難うございました。少ないスタッフ体制でやってきて、人的要素を広げていかないと、頂いたご要望を実現できないといった反省点があります。運営とのバランスを考えていかないと行けないなと感じた一年でした。今年はいろんな行事ごとが多い中、ただ放送をしているというだけではなく、きちんと伝えて伝わった人が動くという影響のある、芯の通ったメッセージのある番組づくり、放送を行っていきたいとおもいます。審議会は終わりますが、リスナーとして意見をお寄せ頂ければと思います。今後とも応援よろしくお願ひ申し上げます。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日 なし

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成21年2月11日(水曜日)17:30～「ゆぶいニング・アワー」番組内で放送
- ② 書面の備置き:平成21年2月5日(木曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成21年2月6日(金曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし